

NIAES トピックス

受賞報告

(独)農業環境技術研究所の研究職員が、2014年度の日本土壤肥料学会賞および日本土壤肥料学会奨励賞を受賞しました。

第59回 日本土壤肥料学会賞

物質循環研究領域 加藤 英孝 上席研究員

「黒ボク土におけるイオン吸着・移動過程に関する研究」

火山灰が風化してきた黒ボク土の多くは、硝酸イオンなどの陰イオンも吸着する性質があります。吸着は土層内でのイオンの移動を遅らせる効果があります。受賞者は、黒ボク土中の各種イオンの吸着・移動過程を解明するための新たな実験法を開発するとともに、移動過程をモデル化し、硝酸イオンの移動速度に影響する要因を明らかにしました。これらの成果は農耕地から溶脱した硝酸塩による地下水汚染を軽減するための基礎となるものです。

第32回 日本土壤肥料学会奨励賞

物質循環研究領域 片柳 薫子 特別研究員

「観測値と数理モデルに基づく農林地生態系温室効果ガス排出量の広域評価」

畑地および水田は温室効果ガスの排出源ですが、その排出は様々な要因によって複雑に変動するため、精度よく広い範囲の排出量を見積ることは困難です。受賞者は、排出量予測精度を向上するための観測・データベース解析・排出量予測モデルの開発をおこない、排出量予測精度の向上を実現しました。

第59回 日本土壤肥料学会賞

生物多様性研究領域 平館 俊太郎 上席研究員

「核磁気共鳴法を利用した土壤中における元素動態の解明」

土壤に含まれる元素は、土壤の母材、自然の風化過程、人為的管理などの影響を受けて、さまざまな化学形態で存在しています。この化学形態を明らかにすることで、土壤が生成するプロセス、人為的インパクトの程度、農業への適否などを見積もることができます。受賞者は、主に核磁気共鳴装置を用いて、土壤中の炭素、ケイ素、アルミニウム、リンなどの化学形態を明らかにする研究に取り組み、多くの成果をあげました。

第32回 日本土壤肥料学会奨励賞

農業環境インベントリーセンター 高田 裕介 主任研究員

「広域的なデジタル土壤情報の整備とその利活用法に関する研究」

受賞者は、日本およびカザフスタン共和国において、広域的なデジタル土壤情報の整備手法を確立し、国および州レベルでの農地土壤中の土壤有機炭素収支の評価を行いました。また、研究過程で得られた土壤情報について、ウェブ上でだれでも簡単に閲覧できるようにした「土壤情報閲覧システム」を開発しました。

